

我子の生立をいたちを傍観する者なきにあらず大なる心得違ちがひにして自然の理に背く者と云う可し

備考 文中新定ノ仮名遣ガ旧来ノ仮名遣ニ代ル場合ニハ之ヲ明ニスル為メ字傍ニ直線ヲ直シ置ケリ

(参照) 台湾教科用書 国民読本ノ文例

其一

家 わ、日 あたり が、よくて、風 が とおるよおに、まど が、たくさん あけて ある のが、よい のであります。

そおして、家 の 内 も 外 も、きれいに そおじおおして、おかなければ いけませぬ。

其二

この 生徒 わ べんとお お すましてから、山お おりて、今、下の町 え きました。町 の りょおがわにわ、いろくの物 お うる 店 が、たくさんならんで います。

字音仮名遣(小学校令施行規則第二号表)ニ関スル事項

一 本表ノ新定字音仮名遣中おヲをニ、おーヲをーニ改ム

二 本表ノ新定字音仮名遣中か、が及び、ずノ下ノ附註「従来慣用ノ例ニ依ルモ妨ナシ」ヲ削除ス

三 本表ニ左ノ二十二項ヲ加フ
従来用ヒ来レル字音仮名遣

新定ノ字音仮名遣

えい	けい	げい	せい	ぜい	てい	でい	ねい	へい	べい	ぺい	めい	れい	えい	くい	ぐい	すい	つう	づう	ふう	ぶう
え	け	げ	せ	ぜ	て	で	ね	へ	べ	ぺ	め	れ	え	く	ぐ	す	つ	づ	ふ	ぶ

ふう

ふう

四 本表ハ中等教育ノ学校教授上ニモ実行センコトヲ期ス

参照 小学校令施行規則第二号表 (省略。本表は本集ニ所載)

(参考) 国語仮名遣改定別案

緒言

一 本案ノ改定仮名遣ハ口語文語共ニ適用スルモノトス
二 本案ノ改定仮名遣ハ現行ノ国定小学校教科書大修正ノ場合ニ実行スルモノトス

三 本案ノ改定仮名遣ハ中等教育ノ学校教授上ニモ実行センコトヲ期ス

四 本案ノ改定仮名遣実行ニ伴ヒ五十音図中阿行ノおハをニ改メ和行ノゐハいニ、ゑハえニ改ム

第一条 おハをニ改ム

例 をかけ(御蔭) をき(沖) をし(啞)

をや(親) をのをの(各) をく(置)
をす(押) をもふ(思) をそる(恐)

第二条 わト発音スルハわニ改ム但シ左ノ二ツノ場合ハ此限ニアラズ

(イ) 天爾遠波ノは

(ロ) 動詞ノ活用ヨリ起ルは

例 いわ(岩)

うつわ(器)

かたわ(不具)

にわ(庭)』

をわす(御坐)

まわる(廻)

かわゆらし(可愛)

にわか(俄)

但書
例 は(天爾遠波)』

さそは(誘)

まは(舞)

くるはす(狂)

まどはす(惑)

かはる(変)

たまはる(賜)

をもはく(思)

うたがはし(疑)

いしわら(石原)

かわ(河)

くわ(桑)

あらわす(著)

くわだつ(企)

やわらぐ(和)』

くわし(委)

きわめて(極)』

あらは(洗)

ならは(習)

やとは(傭)』

ただよはす(漂)

よはす(酔)

くわはる(加)

つたはる(伝)』

ねがはく(願)

ふさはし(相応)

うちわ(団扇)

かわら(瓦)

なわ(縄)

いつわる(伴)

たわむる(戯)

うるわし(麗)

なげかわし(歎)』

きはは(嫌)

ひろは(拾)

かよはす(通)

ならはす(習)

わづらはす(煩)』

そはる(添)

いはく(曰)

のたまはく(宣)』

わづらはし(煩)

附則 語源ヨリ云ヘバ本条但書ニ該当スルモノナルモ今ハ単立

語ト見做サルモノハ仍ホ本文ノ例ニ依ル

例 いわんや(況)